

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第89号 2017年11月2日



写真

月に一度のお食事会
若草自治会 サロン「わかぐさ」
（表紙説明は12ページ）

- p2 災害に強いまちへ。～大成小川改修～
- p5 町政を問う。一般質問に5議員が登壇
- p11 若草団地建て替え計画は ～臨時議会～
- p13 視察レポート。さらに開かれた議会へ
- p14 町民インタビュー聞かせて 和寒菊芳会

強いまちに 小川改修～



9月定例議会

9月定例議会（第3回定例会）は、平成29年9月14日から15日にかけて開催され、人事案件や補正予算などを審議し、可決しました。
また、一般質問では5人の議員が登壇し、意見書1本を可決して閉会しました。

なお、今定例会の傍聴者は延べ7人でした。

補正予算

【一般会計補正予算】

（全員賛成可決）

総額で約8,345万円の増額補正をしました。

河川総務費では、大成小川改修工事の実施に伴う増額補正。

総務費一般管理費で

は、マイナンバーカードに旧姓の併記を可能にする（希望者のみ）など、総合行政情報システム整備業務委託に伴う増額補正と損害賠償金の支出に伴う増額補正を可決しました。

大成小川改修

主な質疑

問

大成小川改修について、昨年の大雨の際の降雨量に耐えられる構造になっているか。

建設課長

昨年の雨量に耐えられる計画を立てている。

問

剣淵川が氾濫した際に、逆流することがあるが、大成小川はどうか。

建設課長

合流する大成川との高低差を付け、流れやすいようなラインも設定しており、逆流を解消する設計になっている。

【損害賠償額の決定】

（全員賛成可決）

児童扶養手当について、町の周知が不十分であったため受給することができなかった対象者に対して実損額を和解により賠償するものとし、これを可決しました。

手エツク体制の強化を

主な質疑

問

町民に対する周知が不十分とあったが、どうだろうか。

保健福祉課長

町広報紙やホームページ上でも記載はしていたが、対象者についての詳細な記載がなかった。

児童扶養手当の額の設定が毎年あり、その部分については掲載していたが、制度全体についてはその都度掲載していなかった。

災害に ～大成



改修後の河川

問 周知に対する管理体制は。

保健福祉課長 各担当者が責任を持って対応しており、上司も含め確認している。

しかし、今回は事務の引継ぎを担当者がチエックをしつかりしていなかったものと考え、責任を痛感している。

問 長期にわたり不利益を被った方がいたことに対する責任は

どう考えているか。

副町長 対象者の方には説明と謝罪をしてきた。

必要なところに関しては処分も含めて対応していく。

人事

【固定資産評価審査委員会委員の選任】

(全員賛成同意)

長谷川謙一氏(三笠)を選任することに同意し

ました。

長谷川氏は平成25年から選任されており、今回で3期目になります。

(任期3年)



▲長谷川謙一氏

【教育委員会委員の任命】

(全員賛成同意)

浜田友子氏(西町)と和久 充氏(北原)を任

命することに同意しました。

浜田氏は平成9年から任命されており、今回で6期目になります。

(任期1年)

和久氏は平成19年から任命されており、今回で4期目になります。

(任期4年)

教育委員会制度を新たに 主な質疑

問 浜田氏が任期1年

期4年となった理由は。

副町長 法律の改正に基づき、教育委員が

同年に2名以上替わることはないようにしなければならなかった。

今回の制度改定について一番状況を理解されており、長く委員を務めていただいている浜田氏を任期1年とした。

補正予算

【国民健康保険特別会計補正予算】

(全員賛成可決)

過年度分の退職者被保険者医療費に係る交付金の精算による返還金の増額補正などを可決しました。

【公共下水道事業特別会計補正予算】

(全員賛成可決)

地方債の変更による財源振替を可決しました。(増減なし)

【介護保険特別会計補正予算】

(全員賛成可決)

保険事業勘定では、過

年度分の各事業交付金の
精算による返還金の増額
補正。

介護サービス事業勘定
では前年度繰越金の確定
による財源振替を可決し
ました。(増減なし)

規約変更

【北海道町村議会議員公
務災害補償等組合規約の
変更】

(全員賛成可決)

【北海道市町村総合事務
組合規約の変更】

(全員賛成可決)

【北海道市町村職員退職
手当組合規約の変更】

(全員賛成可決)

構成団体の名称変更に
よる改正を可決しまし
た。

委員会付託

【平成28年度国民健康保
険町立和寒病院事業会計
決算認定】

町立病院事業会計に係
る決算について、決算審

査特別委員会を設置し、
付託のうえ閉会中に審査
することとしました。

報告

【平成28年度一般会計及
び特別会計歳入歳出決算
に係る健全化判断比率及
び資金不足比率の報告】

和寒町の財政状況は健
全である旨の報告があり
ました。

発議

【高齢者福祉施設指定管
理者調査特別委員会の設
置に関する決議】

委員長に中原浩一氏、
副委員長に石田利美氏が
議長の名を受け決定し
ました。

本特別委員会は、高齢
者福祉施設指定管理者募
集等に関する調査を目的
として設置し、議長を除
く9名が委員となります。

みんなの声を国政に

公益に関わる次の1件について、議員から意見書案が提出されました。
第3回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁などに提出されました。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者：佐々木広行 賛成者：酒向 勤、石田 利美、金谷 浩幸 採決結果：可決（全員賛成）
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、
農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

(要旨)

地域の特性に応じた森林の整備などを着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要であることから、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

1. 市町村が継続的に森林の整備などを着実に進められるよう、「森林環境税（仮称）」を早期に創設すること。税制度の創設に当たっては、都道府県の積極的ななかかわりのもと、森林の整備はもとより木材の利用を含め幅広く活用できる仕組みとすること。
2. 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
3. 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置を充実・強化すること。

町政を 問う。

一般質問

和寒町では1人につき60分の制限時間が設けられ、質問の回数は無制限で行われます。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関（町長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。
※紙面の都合上、概略のみ掲載しています。

質問議員	質問事項	ページ数
中原 浩一議員	①高校生までの医療費無償化を ②大区画化整備など農業の将来像は	6ページ
谷口 勝弘議員	①和寒小中学校の教職員の労働環境は ②診療報酬・介護報酬のダブル改定の対応は	7ページ
伊藤 明議員	①指定管理者制度の成果と課題は ②飼い犬・飼い猫去勢・避妊手術費用補助の見直しは	8ページ
金谷 浩幸議員	①新規就農対策の今後は ②公共料金の設定過程は	9ページ
佐々木広行議員	①次期町長選に挑む所信は ②和寒町役場職員の現状と改善策は	10ページ

問 高校生までの医療費無償化を
答 国の動向を見極めつつ検討



中原浩一議員

高校生までの医療費無償化を

人口減少する中での子育て支援の一環として、本町としても高校生までの無償化により、安心して暮らせるまちづくりとして進めるべきと思うが。

奥山町長

高校生の医療費無償化については、道内では49の自治体を実施、このうち上川管内は5自治体が実施している。

一方、国においては、市町村の医療費の単独助成を抑制するため、既に、乳幼児医療費の対象外となる未就学児童分と小学生分の国保交付金を減額しており、全国町村会など地方三団体は、こうした動きに強く反発している。

このため、国では医療制度のあり方に関する検討会を設置し、少子化対策を推進する中で、自治体を支援する観点から早急に見直すべきとの意見が大勢を占めたとの結論に至っており、国の動向を見極め医療費助成のあり方について検討していく。

大区画化整備など農業の将来像は

国は農業コスト4割削減を掲げ海外農業との競争力をつけて、農業の構造改革の推進、良質で低廉な農業資材の供給・農産物流通などの合理化などを推し進めようとしている。

大きく予算要求している土地基盤整備事業はまさに、農業の構造改革を推進するための予算措置と考えられる。

和寒町としても新たに基盤整備を行った方が良い農地の面積はどれぐらいあるのか。大区画化整備などのこれらの農業の将来像をどう考えているのか。

奥山町長

現時点における基盤整備の予定面積は約360ヘクタールと見込んでいる。

近隣自治体では、水田の大区画化を図る工事が施行されるなど、地域においてもスマート農業への関心が高まってきているものと受け止めている。

本町においても、農作業の省力化については、将来にわたって持続可能な農業にしていくなために必要不可欠と認識しているが、土地所有者間の意見調整などを含め、事業の検討段階から実施まで地元期成会の役割が非常に大きい。

大区画化を検討する場合は、地元農業者の動きが大切になってくる。



▲農業基盤整備事業（区画整理）

農業委員会の役割を新会長に伺う

農業委員会法が平成28年4月から改正され、業務の重点化や選出方法などの改正がな

された。

一方では、農地法、農工法の改正による農地への参入も認められるようになった。

これからの農業委員会の役割をどう考えているのか。

農業委員会会長

農業委員の役割は、農地法等の規定により農地の権利移動や転用に関する農地行政の執行をはじめ、農地の確保や遊休農地の解消など安心して農業に取り組めるよう、行政へ政策反映させるための意見をとする業務も担っている。

また、農村地域工業導入促進法により町計画区域内の農地を転用できる業種を、工業に限定せずサービス業なども対象とする改正も行われた。

このことから、地域振興の視点にたつて努めていく。

そのことから、足腰の強い農業経営を目指し、本町の基幹産業である農業に希望と誇りを持って取り組み、次世代に安心して継承することができよう、関係機関と連携を図りながら、農業委員会としての責務を果たしていきたい。

谷口勝弘議員



問 和寒小中学校の教職員の労働環境は 答 町全体で日本一を目指す整備を行う

問 診療報酬・介護報酬のダブル改定の対応は 答 連携には医療が重要な役割

教職員の労働環境の
今後は

現在も教職員の超過勤務は常態化しているが、小学校の英語教育も必須となりさらに労働時間が増える。

町長は選挙公約で、教職員の職場環境の改善をあげているが、今後はどのようにしていくのか。

奥山町長

これまでの取り組みとしてパソコン導入や、教職員との車座トークでの意見交換、研究会への参加などを行っている。

今後も、教職員の労働環境・健康維持に気配りしながら、子供たちの学習環境を充実していく。

沓澤教育長

教職員の数を増やすことが大切と考え、支援員を小学校に2名、事務生を各1名、さらに教育アドバイザーなどを配置している。

教職員が健康で、やりがいをもって仕事をできるように

教育委員会も支援していく。



▲和寒小学校

○再質問

学校への人員を増やす取り組みが行われているということだが、全国的に行われている「スクールサポートスタッフ」を和寒町の独自予算で取り組んではどうか。

奥山町長

私が考える教育環境日本一は、学校だけではなくPTAや地域の方の協力も必要だ。

全体で力を合わせて、まちづくりの中で教育環境を整えることで、町民のみんなが、「和寒は教育日本一を目指して、頑張っているんだよ。」という意識を持ってもらえる取り組みを、進めていきたい。

○再質問

新しい教育を導入することで町おこしや、人口増加を目指すという考えはあるか。

奥山町長

教育環境に魅力があつて、「子供たちをその町で育てたい。」そういう町にすることは大切なことだと思う。

医療と介護の連携は

町立和寒病院の改革プランにより、病院の見直しが行われたが、約2億5千万円の繰入金を抑えながら、医療と介護の一体的な提供をどう目指すのか。

奥山町長

住まい・介護・生活支援を一体的に提供するには医療が重要な役割になっている。

病院では、認知症対策における初期集中チームを設置して、認知症サポート医として中心的な役割を担う。

また、一般病床を療養病床に見直しをする。

○再質問

新しい取り組みは

奥山町長

道が作った医療構想の中では、回復期病棟が求められている。

しかし、それには、リハビリテーション専門スタッフや、専門の施設を用意しなければならず、莫大な費用が掛かる。

○再質問

介護報酬改正の中に共生型サービスが新設されたが。

保健福祉課長

社会福祉協議会を含めた民間の事業者といっしょに、しっかりと検討していきたい。



▲一般病床の一部を療養病床へ移行する



伊藤 明議員

問 指定管理者制度の成果と課題は
答 課題解決に向け早期に検討する

問 飼い犬・飼い猫去勢・避妊手術費用補助の見直しは
答 成果を踏まえ制度を充分検討する

指定管理者制度の
成果と課題は

福祉・体育施設を指定管理者制度で管理を委ねてきたが、その成果と課題は。

また、今後の制度活用は。

奥山町長

芳生苑では、不適切はケアが発生し、昨年より職員を派遣し改善に向け取り組んでいる。

課題は、介護保険法改正による入所要件の見直しや、入所希望者の減少、重度化や医療ニーズの高まりによる介護員の負担増に加え、従事者の確保が困難な状況になっている。

更には施設の老朽化が進み早期に検討が必要と考えている。

今後は、公民館や図書館などの他施設も効果的に住民サービスの向上が図られれば導入を検討したい。

沓澤教育長

体育施設については総合体育館など10箇所の施設を体育

協会に管理を指定しており、この間、管理実績の報告を求め定期的な確認を実施している。

自主企画事業やインターネットによる申請などを行い、人口減による利用者の減少に歯止めをかける取り組みを実践している。

○再質問

住民サービス向上として増えた事業は。

保健福祉課参事

介護員が一同に会し、全員で研修できるという意味で、昨年から外部講師を招いて研修を行っている。

教育委員会次長

体育協会では、体育館2階でのウォーキングコースでウォーキングラリーを行うなどの事業の他、インターネットでの利用申請が可能になっている。



飼い犬・飼い猫去勢・避妊手術費用補助の見直しは

補助制度施行当時と比較すると手術費用も高額になっており、個人負担も多額になっている。

見直しの考えは。

また、他の条例規則など、時代錯誤のもの整備と対策は。

奥山町長

ペットの去勢避妊手術費用の補助は野良犬や野良猫の増加を防止するなどの目的で施行している。

近年の実績としては、猫が2年間で14匹となっており、本来、所有者は動物愛護及び管理責任を充分認識し、自己責任において適正な措置を講ず

必要があることから、助成する自治体が少ないと考えられる。

これまでの成果も踏まえて今後、充分検討する必要がある。

また、制度や補助金額の見直しが必要となる条例や規則は日々の事務作業で鋭意点検調査していく。

○再質問

代表監査委員にお聞きする。これまでの監査の中で、現状と異なるケースがあったか。

代表監査委員

監査の中で同様なケースは無かったように記憶している。国や道も同じだが、補助メニューは年々増える一方で、利用されていない制度もある。本町においても規則なども含めて、整理する必要があると感じている。



金谷浩幸議員



問 新規就農対策の今後は
答 様々な視点から議論を深める必要がある

問 公共料金の設定過程は
答 丁寧に説明し町民に理解していただく

新規就農対策の今後は

新規で農業を始める為には、資金、農地取得等のハードルの高い問題が多い。

本町の基幹産業である農業の維持、活性化を図る為、和寒町新規就農対策事業補助がある。

しかし、後継者以外の利用度は低く、地域農業の活性化に寄与することを目的とした事業としては、ほど遠いのではないか。

奥山町長

近年の新規就農者は年々減少し、農業後継者は、平成15年が最大7名であったのに対し、平成28年度は2名、今年度2名。

新規参入農業者は、平成28年度は2名、今年度1名で、これまで合計で5名となっている。

農業実習生についても、事業が開始された平成2年以降は、最大で5名を継続して受け入れていたが、ここ最近は一から2名と事業の継続が

危惧される状況。

農業実習生の生活や研修施設となっているふれあいの里や農業活性化センターなど、今ある施設を有効に活用する観点から、農業女子学校の開設の可能性や卒業後の農地の確保が必要。

今後、様々な視点から関係者と議論を深めていきたい。

○再質問

活性化センターの活用は。

産業振興課長

活性化センターの農業実習生は、農業後継者として3年間研修をもらうというところで、受け入れている。

今年度は2年生1名、3年生1名で2名体制になっている。

多い時で4名あり、来年度の募集をしているところだが、今の時点では応募が無い状況。

活性化センターで実施している各種試験の部分についても影響が出てくる。

活性化センターと産業振興課で検討を始めている。

公共料金の設定過程は

町民は各種公共料金を負担しているが、その設定過程、根拠をあまり知らないのが実情である。

現在、東丘浄水場が建設中であり、平成30年6月供用開始の予定だが、今回の建設工事によって水道料金に変更は生じるのか。

奥山町長

本町における水道料金については、平成13年に改定して以降、平成26年に消費税が5%から8%に増税された際にも料金を据え置いている。

町としては、消費税の増税が平成31年10月にも見込まれていることや、今後も水道事業に限らず、町民の生活を守るうえで、一般会計からの繰り出しは必要やむを得ない範囲においてのみ認められる。

その他の公共料金にあっては、利用者からの適正な負担をお願いするにあたり、十分に検討していく必要がある。

○再質問

基本水量の見直しは。

建設課長

いつでも安心して美味しい水を提供するのに必要な浄水場の管理、水道管の管理など、維持管理費に必要な固定経費がある。

この経費を負担していただく料金が水道料金である。これらを割り返して水量8トン基本料1,410円として設定している。

料金改定の際には考慮していかなければならないと思う。



▲平成30年の供用開始に向け建設が進む浄水場

問 次期町長選に挑む所信は
答 次の4年間も課題解決に向けて取り組む



佐々木広行議員

次期町長選に挑む所信は

平成29年3月定例会の折、一般質問で次期町長選の所信を聞いたが、時期早々のことであり、今後については支援者と十分相談して適切な時に示していくと答弁があったが、残すところ4カ月程度であり、意志表示すべきと考え

奥山町長

私が掲げた安心して暮らすことのできるまちづくり、産業育成による活力あるまちづくり、人が輝くまちづくりの3つの重点目標に沿って、様々な事業に着手してきた。

一方では、町立病院の運営や、老朽化が進んでいる芳生苑など医療と福祉の問題をはじめ、農業や商工業などあらゆる産業に影響する人口減少問題など、重い課題が数多くあると認識している。

私は、26年間勤めた前職を辞する際、それまでの人との出会いや経験を生かし、残りの人生、利他の心を基本に命

がけて仕事をする覚悟を決め、立候補し町民の負託を受け現在の職にある。

今後、町民の理解と協力、支援をいただけるよう努力し、次の4年間も課題解決に向けて取り組む考えである。

職員の現状と改善策は

町長選挙の折、公約にも掲げられているなかで未来の和寒町ビジョンについて語られている。

そのなかで役場職員の人材育成について行っていくとのことだが、これらに基づいて職員の健康管理対策・臨時職員などの処遇など、現状認識と改善策はあるのか。

奥山町長

職員の人材育成について、新規採用職員に対しては、役場内部で初任者研修を実施しているほか、中堅職員に対しては、町村会などが主催する合同研修会や道外視察研修に派遣し、職員個々の情報収集や企画立案能力の向上に努め

ている。

平成27年度からは、北海道との職員相互交流などにより、道に派遣された職員は道内の他の自治体の取り組みなどを幅広く学び、また役場職員には、道から派遣された職員の仕事の進め方など、学ぶ機会をつくりながら人材の育成に取り組んでいる。

職員の健康管理対策は、平成7年度以降人間ドックの受診年齢が30歳まで引き下げられたことを機会に、さらに積極的な健診の受診奨励を行っている。

さらに、医師や保健師、職員団体の代表などで構成する職員衛生委員会を役場内に設置し、職員の疾病予防や健康増進、あるいは長期に診療した職員の職場復帰対策などについて検討している。

臨時職員については、現在役場や町立病院、保育所などで勤務しているが、経験年数を考慮するとともに最低賃金の上昇なども踏まえて、毎年給与の見直しを図っているほか、健康診断の受診対象者としている。

〇再質問

今年になってから、地方公務員の不祥事が続いているが、不祥事の防止対策はどのように考えているのか。

特に副町長は職員の管轄のトップであるから、考え方を伺いたい。

広富副町長

地方公務員の不祥事については、町としても関係する部署があるので、十分精査してひとりにさせるのではなく複数の人間が目を通す方法で、最終的には課長が確認している。



第4回 臨時会

8月30日に第4回町議会臨時会が開催されました。
議案は1件で公営住宅新築工事に伴い、9,093万6千円の工事請負契約を(株)浜田組と締結することを全員賛成のもと、可決しました。



▲建設中の大通り公営住宅

主な質疑

問

若草団地の改修ありきで大通りに移したという説明を受けているが、それで良いか。

建設課長 若草団地は古いものを壊し、新しいものを建てていくという計画で進んでいる。自立した生活を送れるよう、利便性の良い立地で建て、それから若草団地の移動を考えている。

問

設置の場所が歩道ぎりぎりまで建物がある。

雪の問題があり、ここは学校の通学路の指定もある。

降雪時の通学に対する安全対策は。

建設課長 4間口の歩道の除雪については町で対応する。

問

入居条件は。

建設課長 70歳以上の方に入居していただく。

問

古い住宅の方々を大通りに移住させて空き家にさせるための手段と聞いていた。

そこで70歳以上の制限を設けてしまうと70未満の方々が2度手間、3度手間になってしまう。

引越し費用を支払う面からも、直接大通りに移動してもらった方が良いのでは。

副町長

70歳以上の方が何度も引越すのは難しいところもあり、利便性の高いところに移っていただき、新しいスタイルの公営住宅で、できるだけ長く自立しながら生活してもらおうよう大通りに建設することにしました。

今後、若草団地の通路や雪捨て場など、ある程度敷地面積を確保していく考えであり、1棟当たりの戸数も減らしていく計画のため、こういう状況が出てくる。すべての方々が1度の引越しで終わることには

ならない部分も出てくる。

10月4日開催

第5回町議会 臨時会

【一般会計補正予算】
(全員賛成可決)

10月22日に投票票が行われる衆議院議員総選挙に係る事務費として、655万7千円の増額補正を可決しました。

10月18日開催

第6回町議会 臨時会

表彰

和寒町表彰式に表彰される方々が決まりました。
(全員賛成可決)

功労章

○金児 義明様 (中和)

功労表彰

○八島 邦彦様 (朝日)

○川嶋 幸男様 (北町)

○合田智津子様 (南町)

○浜田 義昭様 (西町)

○山下 晃史様 (西町)

委員会付託

平成28年度和寒町各会計歳入歳出決算認定について、決算審査特別委員会に付託しました。

今年の作柄は？
農作物生育状況調査

8月28日に農業委員、JA役員、町理事者など、町内関係機関合同での農作物生育状況調査が行われ、本議会も同行しました。



▲水稲の生育状況を調査

水稲・南瓜・大豆の圃場を視察しました。

3町議会議員研修会

8月31日に剣淵町で開催された標記研修会に参加しました。

北海道町村議会議長会事務局長、村川寛海氏より「求められる議会・議員活動」と題した講演を受けました。



▲村川事務局長による講演

道路・施設等
工事箇所を視察

10月18日に本年度発注した工事の現地調査を行いました。

全12箇所をまわり、担

当者から各工事の概要を説明してもらいながら、進捗状況等を確認しました。



▲法面復旧箇所の視察(福原)

上川管内町村議会議員研修会

10月24日に鷹栖町で開催された標記研修会に参加してきました。

はじめに「どうなる？今後の日本政治」と題し、政治評論家の有馬晴海氏の講演を受け、その後「教育の今日的課題について」と題し、上川教育局長の中島康則氏の講演を受けました。

表紙の写真

「手作りランチに舌鼓

毎月第4火曜日「みんな楽しく」をモットーに活動されている、サロン「わかかさ」は、笑い声にあふれていました。スタッフが知恵を持ち寄り、旬の食材でランチを手作りされ「美味しいね」と笑顔で食べた後、理学療法士の指導で楽しく体操されていました。



～あなたの声をお聞かせください～

議会広報委員会では、議会を傍聴しての感想や議会だよりワットサムについてのご意見などを募集しています。

傍聴受付の横に設置しますので、些細なことでもかまいませんので、足を運ばれた際にはご協力をお願いいたします。



視察レポート

さらに開かれた議会へ ～より親しまれるよう動画配信へ～

視察期間：平成29年9月27日～29日



▲ 笛吹市役所にて動画配信事業を視察

山梨県 笛吹市

平成16年6町村が合併して市になり、市の中央を流れる笛吹川から名前が決まりました。人口7万人ほどで甲府盆地の中央部にあります。桃とブドウと石和温泉郷を産業とし、山梨県最古のお寺もある歴史も文

4年に一度、道外研修として、全国町村議会広報研修に参加しています。それに伴い、動画配信の視察をするため、山梨県笛吹市を訪問しました。

広報委員会は、より親しまれる議会広報にするため、動画配信を考えたいです。今回の視察で、さらに開かれた議会にしたいと思います。

和寒町での議会広報誌を動画配信する場合、視聴する皆さまに親しんでみていただく必要があると感じています。市民ニュースの要素を取り入れ、町民の顔も見えるコンテンツにしたいと考えています。

化も深いまちです。

難視聴地域ということ、ケーブルテレビの放送は長く、一般にも普及しています。

議会中継や市民ニュースは、地元のケーブルテレビ局が編集したものを議会事務局が確認し、放送・配信、また、移住促進動画の配信も行っています。

東京

東京千代田区で行われた、全国町村議会広報研修では、小田順子氏・吉村潔氏・芳野政明氏の講演がありました。

全国の町村議会広報委員がそれぞれの広報誌を持ち寄り、いろいろな形の紙面を見ることができました。

また、全国コンクール最優秀賞を受賞した利府町の広報委員の話は、全国トップの実際の活動を直接聞ける、いい機会になりました。

特に、広報委員会の理念やポリシー、そしてマニュアルがあるということ、和寒町議会広報委員会でも、理念と、マニュアルを作成していきたい



▲ 砂防会館で開催された議会広報研修会

たいと思いました。

最終日は、国会議事堂とNHKセンターを訪問しました。

国会議事堂では、日本の政治の歴史を感じることもできました。

NHKでは、普段見ることのできないスタジオのリハーサル風景などを見ることができ、現場の空気の緊張感を感じることができました。

今後、町民と議会の距離を近づけ、和寒町の発展に貢献できるよう努めます。

聞かせて

“和寒菊芳会 最高の作品を つくるまで!!”



▲和寒菊芳会の皆さん

日本の伝統文化「菊花
びんご」

今年創立65年になる『和寒菊芳会（清水目努会長）』会員のみなさんに、お話しを聞かせていただきました。

●花づくりを始めたきっかけは？

当時の会長に半ば強引に勧誘された（笑）。

私は、職場で菊を育てたことがきっかけで、仲間と始めました。

●現在の会員数は？

8名です。

●作品はいつ頃から手掛けるの？

3月20日頃からです。

雪から掘り出したとき、新たな白根が出ているとうれしいものです。

手間をかけ、5月から6月に最後の鉢上げをして育てます。

●花づくりの苦労は？

町民文化祭の菊花展示会に合わせて咲かせることが一番苦労します。

昔、先輩方からの教えはなく「見て覚えろ！」と言われて大変だった。

肝心なところは秘密で、自分で本を読み、毎年つくっては失敗して学んだ。

●今後の課題は？

近隣市町村では、近年会が解散しており、菊花づくりをする人が少なくなっていました。

そのせいで、色々な資材が手に入りづらくなっている。

●納得の作品は出来た？

「今年が良いものをつくるぞ！」と張り切って始めるが、納得できるものはなかなか出来ない。

三本立てにするが、二本は良くて一本がダメだったりする。

「来年はみておれ！」と思うことの繰り返しですね。



▲清水目会長

「最高のものをつくるまでは！」この思いで大変なことも楽しんでやっている。

興味のある方もない方も、一度菊花づくりを体験してみてください。

その奥深さの虜になるかもしれません。



※入会のお問い合わせは清水目会長まで

広報委員の一言

今年の新米も、香り、食味共に最高に美味しかった。

主食はご飯が当たり前。前は私は、近年の米離れが残念で仕方ない。

2015年、一人が一年あたりに消費した米の量は54.6kgで、ピークだった1962年の半分以下になってしまった。

更に、6.8%の人が一ヶ月以内に一度もお米を食べていないという。

世界で一番おこめを食べれているのは、パングラディッシュで1日473g、日本は50位の119g（コンビニおにぎり2個半）と、何とも微妙な位置である。

朝食抜きの生活をしている方へ。

午前中イライラしたり、集中力が続かないなどはありませんか？朝、お米を食べたら改善するかもしれませんよ。（美恵）